

(1) 著書

見坂恒明, 医療面接, *In*: 新・総合診療医学病院総合診療医学編第2版. 徳田安春 (編集), カイ書林, 東京, p48- 51, 2015

見坂恒明, 抗インフルエンザ薬, *In*: 症状と患者背景に合わせた頻用薬の使い分け. 藤村昭夫 (編集), 羊土社, 東京, p254- 266, 2015

(2) 原著論文

Yamamoto Y, Kenzaka T, Kuroki S, Kajii E. Spontaneous arteriovenous fistula of left internal iliac artery aneurysm. *Eur Heart J Cardiovasc Imaging*. 2015; 16: 817.

Kumabe A, Kenzaka T, Nishimura Y, Aikawa M, Mori M, Matsumura M. A rare case of anasarca caused by infiltration of the pituitary gland by diffuse large B-cell lymphoma. *BMC Endocr Disord*. 2015; 15: 10.

Kenzaka T. Purple urine bag syndrome in a patient with a urethral balloon catheter and a history of ileal conduit urinary diversion. *Korean J Intern Med*. 2015; 30: 420.

Kenzaka T. Influenza follicles in the posterior pharyngeal wall. *Postgrad Med J*. 2015; 91: 472.

Kenzaka T, Kato K, Kitao A, Kosami K, Minami K, Yahata S, Fukui M, Okayama M. Hyperammonemia in Urinary Tract Infections. *PLoS One*. 2015;10: e0136220.

Norizuki M, Sasahara T, Gomi H, Morisawa Y, Takamura N, Kenzaka T, Kobayashi T, Fujiya Y, Kato Y, Matsuoka H. A Case of Fascioliasis Treated Successfully Without Sequelae in a Japanese Expatriate Living in Jakarta. *Clin Med Insights Case Rep*. 2015; 8: 61-3.

Nakamura R, Kenzaka T. Magnetic resonance imaging of cardiac amyloidosis. *QJM*. 2016; 109: 63.

Kenzaka T. Hepatic computed tomography changes caused by amiodarone. *Korean J Intern Med*. 2015; 30: 745-6.

Ueda Y, Kenzaka T, Noda A, Yamamoto Y, Matsumura M. Adult-onset Kawasaki disease

(mucocutaneous lymph node syndrome) and concurrent Coxsackievirus A4 infection: a case report. *Int Med Case Rep J.* 2015; 8: 225-30.

Minami K, Kumabe A, Sagara Y, Kenzaka T. Pancreatic Exocrine Insufficiency with Systemic Edema after Pancreaticoduodenectomy: A Case Report. *JOP. J Pancreas* 2016; 17: 102-105.

Kadoya Y, Kenzaka T. Prostatic abscess in a patient with ST-elevation myocardial infarction: a case report. *BMC Cardiovasc Disord.* 2016; 16: 48.

Kitao A, Ieki R, Takatsu H, Tachibana Y, Nagae M, Hino T, Nakaji H, Shimojima M, Saijo M, Okayama M, Kenzaka T. Severe fever with thrombocytopenia syndrome presenting as hemophagocytic syndrome: two case reports. *Springerplus.* 2016; 5: 361.

(3) 総説

鈴木紘史, 見坂恒明. 総合診療のプラクティス 患者の声に耳を傾ける (第6回)必要な情報は積極的に問い合わせる. *Medicina.* 2015; 52: 172- 175.

見坂恒明. 総合診療のプラクティス患者の声に耳を傾ける (第7回) red flag sign を見逃さない. *Medicina.* 2015; 52: 396- 398.

見坂恒明. 総合診療のプラクティス 患者の声に耳を傾ける (第8回) 尿道カテーテルを留置中の患者では尿色の変化に注意. *Medicina.* 2015; 52: 571- 573.

見坂恒明. 総合診療のプラクティス 患者の声に耳を傾ける (第9回) 皮膚所見の陰に隠れた基礎疾患を見逃さない. *Medicina.* 2015; 52: 771- 773.

見坂恒明. 【感染症診療それ,ホント?】入院編 菌血症がきっかけで悪性腫瘍が見つかることがあるってホント? *Medicina.* 2015; 52: 908- 909.

隈部綾子, 見坂恒明. 総合診療のプラクティス 患者の声に耳を傾ける (第10回) 「患者の訴える部位」を丁寧に診察する. *Medicina.* 2015; 52: 984- 985.

松岡保史, 見坂恒明. 総合診療のプラクティス 患者の声に耳を傾ける (第11回) 海外渡航歴は直近だけでなく遡って聞く. *Medicina.* 2015; 52: 1222- 1224.

松岡保史, 見坂恒明. 総合診療のプラクティス 患者の声に耳を傾ける (第 12 回) 薬剤性の疾患は, 薬剤開始直後に起きるとは限らない. *Medicina*. 2015; 52: 1376- 1378.

見坂恒明. 総合診療のプラクティス 患者の声に耳を傾ける (第 13 回) 診断確定で満足せず, 合併症も検索する. *Medicina*. 2015; 52: 1599- 1603.

山崎海成, 見坂恒明. 総合診療のプラクティス 患者の声に耳を傾ける (第 14 回) 患者が自ら語らない症候を引き出す. *Medicina*. 2015; 52: 1838- 1841.

八幡晋輔, 見坂恒明. 総合診療のプラクティス 患者の声に耳を傾ける (第 15 回) 診断が難しい時こそ徹底討論による分析的推論を用いる. *Medicina*. 2015; 52: 2002- 2005.

隈部綾子, 見坂恒明. 総合診療のプラクティス 患者の声に耳を傾ける (第 16 回) 病歴から想定される疾患を念頭に置き, 注意深く身体診察する. *Medicina*. 2015; 52: 2252- 2254.

小佐見光樹, 見坂恒明. 総合診療のプラクティス 患者の声に耳を傾ける (最終回) 患者がいつも真実を語るとは限らない. *Medicina*. 2015; 52: 2448- 2451.

小坂明博, 大西翼, 上田祐樹, 見坂恒明, 森澤雄司, 松村正巳, 苅尾七臣, 杉山幸比古. 繰り返し行った身体診察が診断に有用だった化膿性椎間板炎/脊椎炎の 1 例. 栃木県医学会々誌. 2015; 45: 102- 104.

(4) 学会・研究会発表

Suzuki H, Kumabe A, Sagara Y, Nishimura Y, Kenzaka T, Matsumura M. Toxic shock syndrome following influenza B infection. Society of General Internal Medicine 38th Annual Meeting, Toronto, April 22-25, 2015.

見坂恒明, 南建輔, 隈部綾子. 誤嚥性肺炎診療の現況と感染症専門医の関わりについての検討. 第 89 回日本感染症学会学術講演会, 京都, 2015 年 4 月 16 日 - 17 日.

見坂恒明, 南建輔. 黄色ブドウ球菌による Probable Toxic Shock Syndrome に可逆性脳梁膨大部病変を伴う脳症を合併した 1 例. 第 58 回日本感染症学会中日本地方会学術集会, 奈良, 2015 年 10 月 15 日 - 17 日.

小林久也, 隈部綾子, 畠山修司, 大西翼, 畠山修司, 森澤雄司, 見坂恒明. 手指の水疱を伴う黒色皮膚病変を有したメチシリン感受性黄色ブドウ球菌(MSSA)による感染性心内膜炎

の一例. 第 64 回日本感染症学会東日本地方会学術集会, 札幌, 2015 年 10 月 21 日 - 23 日.

見坂恒明, 上田祐樹, 小佐見光樹, 隈部綾子, 南建輔, 松村正巳, 岡山雅信. 実臨床医が誤嚥性肺炎患者の経口摂取開始の目安とする項目の抽出-全国質問紙調査結果より-. 第 6 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, つくば, 2015 年 6 月 13 日 - 14 日.

見坂恒明, 隈部綾子, 松岡保史, 南建輔, 上田祐樹, 松村正巳, 南建輔, 北尾章人. 医療・介護関連肺炎(NHCAP)における血液培養陽性に関連する因子の検討. 第 6 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, つくば, 2015 年 6 月 13 日 - 14 日.

岡山雅信, 見坂恒明, 河野誠司. 医学部 1 年を対象としたワークショップ形式による地域医療教育プログラムの紹介. 第 47 回日本医学教育学会大会, 新潟, 2015 年 7 月 24 日 - 25 日.

見坂恒明, 山本祐, 隈部綾子, 上田祐樹, 松村正巳. 研修医のプレゼンテーション能力向上の教育の有効性についての検討. 第 47 回日本医学教育学会大会, 新潟, 2015 年 7 月 24 日 - 25 日.

草野俊亮, 北尾章人, 田中健雄, 見坂恒明, 川本晋一郎, 市川大哉, 倉田啓史, 松岡広, 南博信, 秋田穂東. 血球貪食症候群を合併した脾臓原発びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫(DLBCL)の 1 例. 第 209 回日本内科学会近畿地方会, 大阪, 2015 年 9 月 12 日.

山崎海成, 合田菜穂, 南建輔, 中治仁志, 見坂恒明. 健常成人に発症した肺炎球菌による化膿性脊椎炎の 1 例. 第 209 回日本内科学会近畿地方会, 大阪, 2015 年 9 月 12 日.

迫健太郎, 山縣朋浩, 南建輔, 中治仁志, 見坂恒明. 淡水曝露により *Edwardsiella tarda* を含む複数菌血症を起こした 1 例. 第 210 回日本内科学会近畿地方会, 神戸, 2015 年 11 月 28 日.

水木真平, 山本哲也, 河崎悟, 藤井康和, 西崎朗, 秋田穂東, 中島由貴, 黄豊羽, 丸尾原義, 見坂恒明. 卵管卵巣膿瘍による敗血症性ショックの 1 例. 第 210 回日本内科学会近畿地方会, 神戸, 2015 年 11 月 28 日.

松本正憲, 田中健雄, 河崎悟, 藤井康和, 西崎朗, 秋田穂東, 見坂恒明. 著明な末梢血好酸球増多を呈した, 悪性胸膜中皮腫の 1 例. 第 210 回日本内科学会近畿地方会, 神戸,

2015年11月28日.

山本哲也, 河崎悟, 藤井康和, 西崎朗, 秋田穂束, 見坂恒明. コーンスターチが有効であったインスリン自己免疫症候群の1例. 第211回日本内科学会近畿地方会, 京都, 2016年3月26日.

藤原えり, 南建輔, 中治仁志, 見坂恒明. 肺膿瘍との鑑別に苦慮した多発血管炎性肉芽腫症の1例. 第211回日本内科学会近畿地方会, 京都, 2016年3月26日.